

2020 年度 後期

留学生教育・支援センター

【上級Ⅰ】 シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
上級Ⅰ 総合	木 1・2	冨田	... 1
上級Ⅰ 読解	火 1・2	松尾	... 2
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムの各クラスのレベルについて			... 3

2020 年度 後期	曜日・校時	木曜日・1校時、2校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級 I 総合			
担当教員名	埴田 美有紀		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	本文について理解し、現代社会の普遍的な課題への自分なりの見方を獲得する。獲得したことを書いたり話したりして的確に伝えられるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
この授業では予習が前提です。各課の本文を読み、内容を把握して授業に出てください。				
第 1 週	10/1	オリエンテーション		
第 2 週	10/8	第 1 課内容確認、発展問題、グループ発表		
第 3 週	10/15	第 2 課内容確認、発展問題、グループ発表		
第 4 週	10/22	第 3 課内容確認、発展問題、グループ発表		
第 5 週	10/29	第 4 課内容確認、発展問題		
第 6 週	11/5	第 4 課発表		
第 7 週	11/12	第 5 課内容確認、発展問題、レポート		
第 8 週	11/19	第 6 課内容確認、発展問題、グループ活動報告		
第 9 週	11/26	第 7 課内容確認、発展問題、グループ発表		
第 10 週	12/3	第 8 課内容確認、発展問題、グループ活動報告		
第 11 週	12/10	第 9 課内容確認、発展問題、レポート		
第 12 週	12/17	第 10 課内容確認、発展問題、グループ発表		
第 13 週	1/7	第 11 課内容確認、発展問題、グループ活動報告		
第 14 週	1/14	第 12 課内容確認、発展問題		
第 15 週	1/21	第 12 課発表		
教科書・教材等	『話す・書くにつながる 日本語読解 中上級』小野恵久子 他著、アルク			
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度 8%、内容把握の問題 12 課×1%=12%、発表 2 回×10%=20%、レポート 2 回×10%=20%、グループ発表 5 回×5%=25%、グループ活動報告回 3×5%=15% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の 3 分の 2 に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2020 年度 後期	曜日・校時	火曜日・1校時、2校時	コマ数	2コマ
授業科目	上級Ⅰ読解			
担当教員名	松尾 まゆ美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	意見文や説明文など、まとまった長さの文章を理解できる。また文意を捉えるだけでなく、他者と意見交換をしながら思慮を深め、日本語表現能力を高める。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
1. 意見文、説明文などまとまった長さの文を読み、内容を理解する。 2. 文法や語彙、漢字を学び、使えるように練習する。 3. 作文、発表などで学んだことを使い、自分の伝えたいことを表現する。				
第1週	9/29	オリエンテーション Unit1「自己紹介と本当の自分」		
第2週	10/6	Unit1「自己紹介と本当の自分」		
第3週	10/13	Unit3「ジェンダーを考える」		
第4週	10/20	Unit3「ジェンダーを考える」		
第5週	10/27	Unit4「ことばと文化」		
第6週	11/10	Unit4「ことばと文化」		
第7週	11/17	Unit5「心と体のバランス」		
第8週	11/24	Unit5「心と体のバランス」		
第9週	12/1	Unit6「働くということ」		
第10週	12/8	Unit6「働くということ」		
第11週	12/15	Unit8「環境のためにできること」		
第12週	1/5	Unit8「環境のためにできること」		
第13週	1/12	Unit9「食の共同性」		
第14週	1/19	Unit9「食の共同性」		
第15週	1/26	プレゼンテーション Unit10「笑いのちから」		
第16週	2/2	期末試験		
教科書・教材等	『新 中級から上級への日本語』（the Japan Times） 生教材として新聞コラム			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 20% 小テスト 20% 提出物 20% 発表 20% 期末試験 20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

**留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ言語 共通枠) のレベル
初級Ⅰ	初級 前半	初歩的な文法・漢字（100 字程度）・語彙（800 語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話が でき、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合い、持ち物などの個人的情報について、質 問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級Ⅱ	初級 後半	基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話が でき、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現 が理解できる。 ・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級Ⅰ	中級 前半	基本文法の応用ができ、漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し、一般的なことがら、日常的 な話題について、簡単な会話が でき、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級Ⅱ	中級 後半	やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し、少し高度な一般的なことがら、 日常的な話題について、会話が でき、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示 しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級Ⅰ	上級 前半	高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎とし て役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳 細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加え て、内容を補足できる。	N1	C1 C2
上級Ⅱ	上級 後半	高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎とし ても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や 接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。		

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級Ⅰ	(5 単位, 週 5 コマ)	中級Ⅰ読解	(2 単位, 週 2 コマ)	上級Ⅰ読解	(2 単位, 週 2 コマ)
初級Ⅱ	(5 単位, 週 5 コマ)	中級Ⅰ聴解	(1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅰ総合	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅰ会話	(1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ総合 A	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅰ作文	(1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ総合 B	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅰ漢字	(1 単位, 週 1 コマ)	上級Ⅱ総合 C	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅱ読解	(2 単位, 週 2 コマ)	上級Ⅱ総合 D	(2 単位, 週 2 コマ)
		中級Ⅱ聴解	(1 単位, 週 1 コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座	(1 単位, 週 1 コマ)
		中級Ⅱ会話	(1 単位, 週 1 コマ)		
		中級Ⅱ作文	(1 単位, 週 1 コマ)		
		中級Ⅱ漢字	(1 単位, 週 1 コマ)		
		中級総合 A	(1 単位, 週 1 コマ)		
		中級総合 B	(1 単位, 週 1 コマ)		

*週 1 コマとは、1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

(本ページのみ：2015/07/30 作成，2018/01/26 更新)